

オプション(別売)

名称	専用ソフトバッグ らくらくチェッカーがスマートに収納できます。 [内寸:約250×350×85mm]	マグネットアダプタ 電源コードのクリップの代わりに鉄製の端子ネジに磁気で取り付けて使用します。(2個1組)	チェッカー本体 単品販売品です。補修用、追加用。 らくらくチェッカー、らくらくチェッカー38に標準装備。(電源ケーブル、ストラップは付属していません。)	センサー38 (24回路分一式) 8~38mm ² (電線外径6.0~11.5mm)までの電線をクランプできます。 [全長約1.7m] (らくらくチェッカー38に標準装備されています。)	標準センサー (24回路分一式) 最大5.5mm ² (電線外径6.0mm)までの電線をクランプできます。 [全長約1.2m] (らくらくチェッカーに標準装備されています。)
ご注文品番	ECRSB	ECR2MA	ECR1A	ECR38	ECR2S
型式	—	ECR-2MA	ECR-1A	ECR-38	ECR-2S
標準価格	8,300円	13,100円	62,400円	30,600円	27,000円

名称	分岐回路判別器用電源ケーブル ワンククリップは、大小2種類を付属していますのでいろいろな分電盤の電源端子に対応可能です。 (らくらくチェッカーに標準装備されています。)	クリップコードアダプター チェッカー本体の電源ケーブルにワンタッチで装着可能。先端がクリップ式になっています。	テスターコードアダプター チェッカー本体の電源ケーブルにワンタッチで装着可能。先端がテスターピン(棒)になっています。	本体用電源ケーブル 2P・3P兼用のコンセント用電源線を標準装備していますので、2P・3Pのどちらのタイプのコンセントにも変換アダプタなしで対応できます。 [全長:約1m] (らくらくチェッカーに標準装備されています。)	
ご注文品番	ECR2K	ECR1KA	ECR1TA	ECR1K	
型式	ECR-2K	ECR-1KA	ECR-1TA	ECR-1K	
標準価格	16,100円	7,400円	5,500円	4,900円	

使用上のご注意

- チェッカーの分岐回路チェックはPLC(電力線搬送通信)技術を応用しています。チェッカー本体からの信号を分岐回路判別器のセンサーで受信し、マイコンで各センサーの出力信号を比較し判定を行い、再び、チェッカー本体で結果を表示するしくみとなっています。
- センサーをクリップする際は、センサーの向きを揃えてライン側または、ニュートラル側のどちらかに統一してクリップしてください。センサーには極性がありますので、センサーを取り付ける向きや極性が違った場合には正確な線路探索ができません。
- チェックできる回路長はおおよそ100m程度です。(電源や負荷及び、配線状態によっては分電盤からコンセントまでのご使用可能な距離が短くなることがあります。)
- 絶縁トランスを介した電源では2次側が接地されていないため、極性のチェックができません。また、回路チェックが不安定になりますので使用できません。
- チェッカーは単相100V回路専用です。200V回路ではご使用できません。電圧チェックは、コンセントの電圧が約90V~110Vの範囲でOK(合格)の判定をします。200V回路などその他の電圧ではNG(不合格)の表示となり、その先のチェックには進めません。電圧ランプが点滅してお知らせします。
- 本体は必ず手に持って作業をしてください。極性チェックは、検電器と同じ原理でチェックしています。電圧相(ライン極)の対地電圧をもとに判定しているため、チェッカー本体を手に持たないで机やテーブルにチェッカー本体を置いてチェックすると正しい値が得られない場合があります。
- 漏電遮断器動作テストは、接地線に100mA、0.1秒の漏洩電流を実際に流してテストします。したがって、チェックしようとしている漏電遮断器以外の漏電遮断器が動作することもあります。チェックしようとしている漏電遮断器が接続されている回路の中や上位の遮断器を経由して分岐された他の回路の中にも漏電遮断器が設置されている場合、チェックしようとしている対象の漏電遮断器以外の漏電遮断器が動作することもあります。チェックしようとしている対象以外の漏電遮断器が動作しても問題ないことを確認してご使用ください。
- 漏電遮断器のテストは、100mA、0.1秒の漏洩電流でテストしますので、中・低感度形や時延形の漏電遮断器のチェックはできません。
- 単3中性線欠相保護付漏電遮断器や単3中性線欠相保護付配線用遮断器の過電圧保護機能はチェックできません。
- 弊社製以外の分電盤や遮断器等でもご使用可能です。

△安全に関するご注意

1. 選定やご不明な点などありましたら最寄りの弊社支店、営業所までお問い合わせいただき正しくご使用ください。
2. ご使用前に「取扱説明書」を必ずお読みいただき正しくご使用ください。

- 掲載価格には消費税は含まれていません。●印刷色ですので実際の色と異なる場合があります。ご了承ください。
- 仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- パンフレットの内容につきましてご不明な点がありましたら、お近くの弊社支店が営業所までおたずねください。

納期区分: ①(在庫品) ②(当日出荷) ③(翌日出荷) ④・⑤・⑥(受注品) この価格には消費税は含まれておりません。

テンパール工業株式会社

■本店 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42
■発行 営業本部
ホームページ <https://www.tempearl.co.jp/>



技術問い合わせ窓口 TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534
受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)



電気工事チェッカー

ECR00/ECR11



らくらくチェッカー

ECR00

★最大5.5mm²までの電線をクランプできるセンサーを標準装備。

らくらくチェッカー38

ECR11

★最大38mm²までの電線をクランプできるセンサー38を標準装備。

ご注意

- らくらくチェッカー本体は、単相100V回路専用ですので、動力回路ではご使用になれません。分岐回路判別器は、単相100Vおよび単三100/200V回路で使用できます。
- 50/60Hz専用です。可搬型発電機のように周波数の不安定な電源では回路判別できない場合があります。
- 分岐回路判別は、PLC(電力線搬送通信)技術を応用しています。PLCの性質上、接続した回路のインピーダンス(搬送周波数における)が極めて低い場合や、搬送周波数(約1kHz)付近に連続したノイズがあると、信号がノイズに埋もれて通信不能となって、エラー表示になる場合があります。
- ニュートラル線と接地線の誤配線があるコンセントで、本体のプラグを差し込んだとき、または、自動モード、手動モード1でチェックしたときは、主幹漏電遮断器が高感度・高速形(30mA以下、0.1秒以内)ですと、漏電遮断器が動作します。停電に注意してください。

らくらくチェッカー

ECR00

★最大5.5mm²までの電線をクランプできるセンサーを標準装備。



電気工事チェッカー

(単相100V回路専用)

5つのチェック機能

1~4のチェックがワンタッチで簡単にできます。

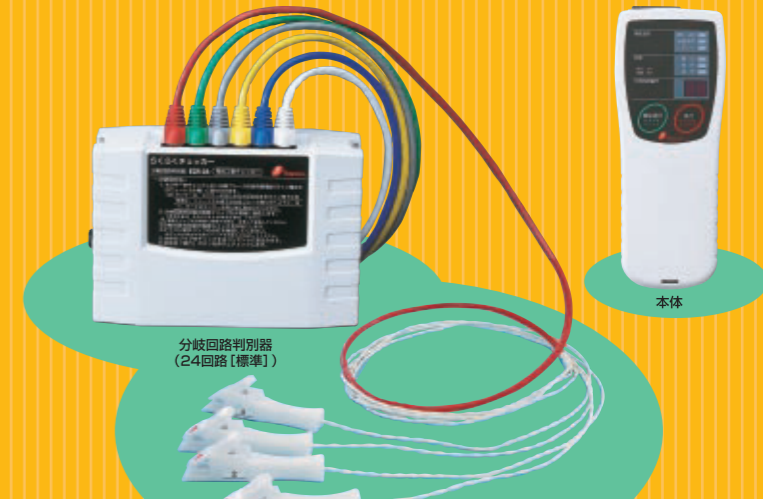
1. 分岐回路チェック
2. 電圧チェック ※1
3. 極性チェック ※2
4. 接地チェック ※3
5. 漏電遮断器動作チェック ※4

※1 コンセントの電圧がAC約90V~110Vであるかをチェックします。
 ※2 コンセントの極性が短方がライン、長方がニュートラルであるかチェックします。
 ※3 コンセントの接地極(端子)が正常な接地またはアースに接続されているかチェックします。
 ※4 接地線に漏洩電流(100mA、0.1秒)を流し、漏電遮断器の動作確認をします。

らくらくチェッカー38

ECR11

★最大38mm²までの電線をクランプできるセンサー38を標準装備。

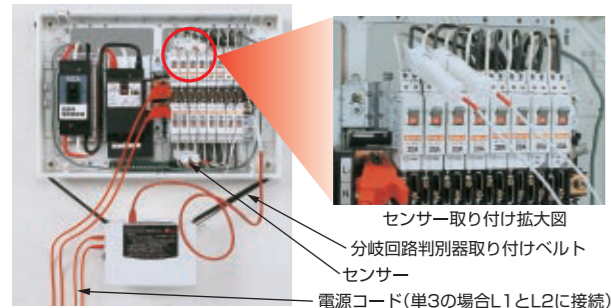


- 作業効率のアップ
分岐回路判別器を分電盤又は、電力量計(WHM)にセットすれば、あとはコンセントの場所ですべてのチェック結果を表示するので効率良く作業ができます。
- 操作が簡単
マイコンによりセンサーで検出した信号を比較・判定するので感度調整などわずらわしい操作は一切不要です。
- 24回路標準装備
分岐回路の線路探索は24回路を標準装備。

取扱手順(自動モード、手動モード2)

取扱手順の一例を記載しています。

(1)分岐回路判別器を分電盤に取り付けた後、電源コードとセンサーを取り付け、電源スイッチを入れます。(線路探索時に必要です。)



センサー取り付け拡大図
分岐回路判別器取り付けベルト
電源コード(単3の場合L1とL2に接続)

(2)チェッカー本体のプラグをコンセントに差し込みます。(コンセントに差し込んだ直後に自動で「電圧チェック」を行います。)



機能選択ボタン 実行ボタン

(3)機能選択ボタンを押して機能を選択し、実行ボタンを押すと各モードでチェックを開始します。



表示例

【電圧】・【極性】・【接地】・【線路探索】のチェック結果を表示します。

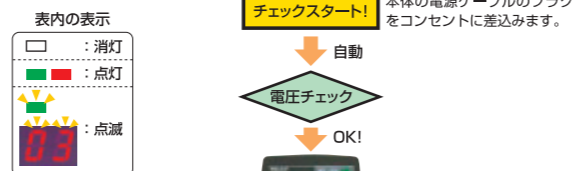
【極性】ランプ点灯、【接地】ランプ点滅、分岐回路番号が点灯表示します。

【機能選択】ボタンを押すたびにモードが変わります。(電圧チェックは自動)



チェックモードと表示(例:自動モード)

表示の一例を記載しています。



自動モード
自動モード選択状態となっています。

「機能選択」ボタンを押さずに「実行」ボタンを押す、または他のモードになっていた場合は、「機能選択」ボタンを押して、「機能選択」の【極性・接地】、【線路探索】(結果)の【電圧】ランプを点灯させ、「実行」ボタンを押すと、チェック開始!



自動モードでは、【極性】チェック、【接地】チェック、【線路探索】を連続して、自動で行い、最後にまとめて結果を表示します。ただし、【極性】チェックでNGまたは不明の場合は※の矢印の流れになります。

3つのチェックの結果表示
例:すべてのチェックでOK!



((結果)の【極性】・【接地】ランプが点灯、分岐回路番号が点灯表示)

●仕様
 ●仕様
 ●仕様

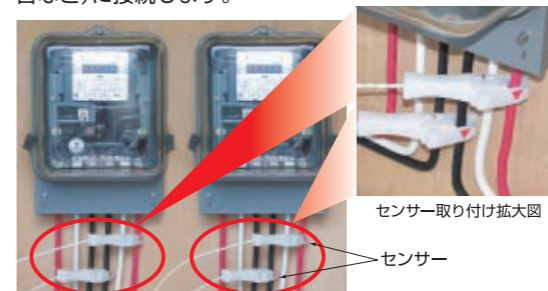
ご注文品番		ECR00	
チェック対象電気方式	単相回路専用		
線路探索回路数	24回路	標準装備	
	本体	分岐回路判別器	
外形寸法	175×70×39(突起部除く)	121×174×72(突起部除く)	
質量	約240g	約650g	
センサー	標準センサー(ECR-2S)付属		
標準価格	170,300円		

アパートやマンションにある、集合計器盤内の電力量計(WHM)と各部屋の分電盤が正しく配線されているかをチェックします。

取扱手順(自動モード)

取扱手順の一例を記載しています。

(1)センサー38を電力量計の負荷側のライン(L1、L2)に取り付けた後、電源を電力量計の電源側(盤内の電源端子台など)に接続します。



センサー取り付け拡大図
センサー

(2)各部屋のコンセントに本体を接続してチェックします。
 ※別途オプションのアダプターを本体に接続すれば、各部屋の分電盤でチェックできます。



機能選択ボタン 実行ボタン

(3)機能選択ボタンを押して機能を選択し、実行ボタンを押すと各モードでチェックを開始します。

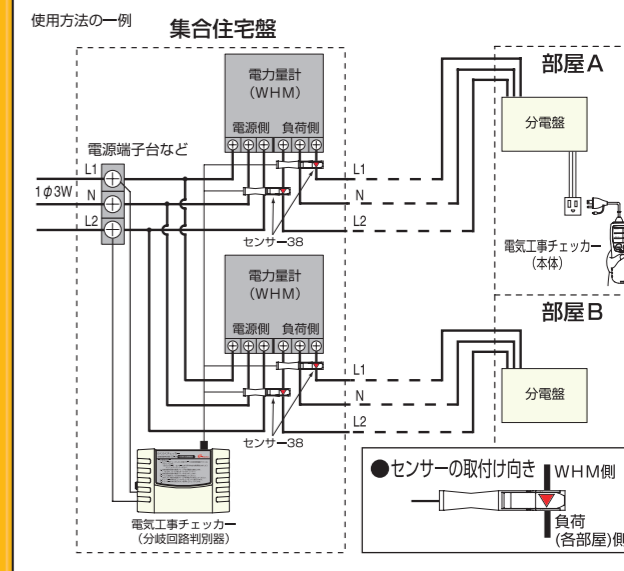


表示例

【電圧】・【極性】・【接地】・【線路探索】のチェック結果を表示します。【極性】ランプ点灯、【接地】ランプ点滅、分岐回路番号が点灯表示します。

(4)電力量計のL1、L2に取り付けただちらかのセンサーの番号を表示すれば、その部屋と電力量計の配線チェックはOKです。

使用方法



●センサーの取付け向き WHM側
 電気工事チェッカー(分岐回路判別器)
 分電盤
 部屋A
 部屋B
 電気工事チェッカー(本体)
 分電盤
 部屋A
 部屋B
 WHM側
 負荷(各部屋)側

ご注文品番		ECR11	
チェック対象電気方式	単相回路専用		
線路探索回路数	24回路	標準装備	
	本体	分岐回路判別器	
外形寸法	175×70×39(突起部除く)	121×174×72(突起部除く)	
質量	約240g	約650g	
センサー	センサー38(ECR-38)付属		
標準価格	174,000円		